

【ベストペーパー賞選定記】

石井信明（第10回情報システム学会全国大会・研究発表大会 プログラム委員長）

2014年11月29日(土)、静岡産業大学藤枝キャンパスにて、第10回情報システム学会全国大会・研究発表大会が開催されました。本大会では、昨年までのベストプレゼンテーション(BP)賞を改め、ベストペーパー(BP)賞と特別賞が新たに設けられ、中西昌武(名古屋経済大学)さんがBP賞を、荻野健人(慶應義塾大学)さんらがBP特別賞をそれぞれ受賞されました。

- ・ ベストペーパー賞

中西昌武(名古屋経済大学)： パス歩行行列を媒介した帳票検討プロセス

- ・ ベストペーパー特別賞

荻野健人、壺井彬(慶應義塾大学)、瓜生務、村上智美、柴田昌彦(みずほ情報総研株式会社)、高橋正子(慶應義塾大学)： GHG排出削減取組みと投資家行動との関連性 ～主要な民間調査に対する情報開示～

BP賞、BP特別賞の選定にあたっては、投稿された論文についてプログラム委員が事前の書類審査を行った結果、候補として13編を選定しました。大会当日は、プログラム委員が候補論文の発表を聴講し、大会終了後に論文と当日の発表内容を総合的に評価しました。その結果、冒頭のように各賞が決まりました。

BP賞の中西昌武さんの論文は、データの論理構造、業務の要求仕様、帳票・フォームの関係をパス歩行行列により表現した研究です。長年の研究の蓄積を基に実装の努力をしている点、さらには、今後の情報システム学会への貢献が期待できることが高く評価されました。情報システム学会の研究テーマとして、さらなる広がりを目指します。

特別賞の荻野健人さんらの発表は、日本企業の環境活動に関する情報と機関投資家などの投資行動との関係を分析したものです。分析結果から、企業の特徴を踏まえた情報開示の内部体制の整備を提案しています。発表では会場からの質問に的確に答えるなど、プレゼンテーションの内容も高い評価を受けました。

BP賞、BP特別賞については、来年度以降も引き続き選定を行う予定です。今後も、全国大会での研究発表の活性化に向け、ご協力をお願いいたします。

以上